

“はらはちぶんめ” No. 14

2011/7/7(木) 発行・文責 理事長 長坂徳久

※「はらはちぶんめ」は、おおらかに、ゆとりを持ってのびのびとこうよ、という願いからつけています。

【はぐくむマナー その①】

はぐくむ学童のマナー(ドリーム会館使用のマナーでもあります。)

- ①玄関に入るときは「おはようございます!」「こんにちは!」「こんばんは!」とあいさつ。
『よその家に入るときに、だまって入らないでしょうか? それと同じです。二階に聞こえるぐらいの声であいさつします。』
- ②理事長室へ来て長坂とあいさつ(握手もする。) 握手でその日のその子の体調、様子を感じます。

(理事長室入室のマナー)

- (1)ノックをする。何回しますか? コンコン? それは「トイレノック」と呼ばれます。
コンコンコン これはプライベートノックと呼ばれます。家族間でのノックです。
正式には、コンコン・コンコンという四回が正式なノックです。
ただし、面接時などは三回でもいいでしょう。
子どもたちは、二回はトイレノックだとわかっています。(たぶん)
- (2)『はい、どうぞ。』と長坂。
- (3)「失礼します。」と言って入室。
「こんにちは。お願いします。」「おかえり。こんにちは。』
- (4)「失礼しました。」と言って退室。

※この一連のノック、失礼します、あいさつ、失礼しました、ができていないときは、やりなおしをさせます。

おとなになってからや受験・就職の面接にも役に立ちます。

育夢学園や少林寺拳法での教え子で「古佐田丘中学」に入っている子どもたちがたくさんいます。その子たちは、ドリーム会館で鍛えられているので面接などのときに苦労しません。(ちなみに、面接の時はもう合否は決まっているらしいですが・・・)

(5) 脱いだ靴は、下駄箱にかかとを揃えて入れる。かかとは踏まない。

「かかとを踏んでいると家の人が笑われるんやで。」と言います。ちなみに、長坂はいつもかかとを踏んでいました(苦笑)

(6) 「お願いします。」言って、学童教室へ入室。敷居を踏まない。「敷居を踏んだら、長坂先生の顔を踏んだことになります。」と教えます。

(7) カバンを整理して入れる。

(8) その日の指導員とあいさつ・握手

以上が、ドリーム会館マナーその①です。

マナーというよりも「礼儀」の部分を重ねます。

よく聞くのは、「家では全くやらない。(靴を揃えるなど)」と。家でやらないなら出来ていないと思うかもしれませんが・・・実は家でやるのが一番難しいのです。だって、家って一番、気を抜けるところでしょう？ 大人でも。

家でも靴を揃えるようになったとき、その子はどこへ行っても、おとなになっても、靴を揃え続けることでしょ。

Mくん



Yくん